



# 私の小宇宙

Sweden

絵・文  
深井せつ子



少し似てる？

スウェーデンと日本は、どちらも国土の約7割が樹木に覆われている。日本はそのほとんどが山の樹木、スウェーデンではノルウェー側に高山帯もあるが、平野に広がる森の樹木が多い。この豊かな樹木が、両国ともに古来より住居の資材になってきた。

ただ、気候が大きく違うため、建物の性質はかなり違っている。スウェーデンでは「暖かく過ごせる家」。零下数十度で生きるには、絶対条件だから。でも、日本の古民家を見ると、いかに夏を凌げるか、湿気を防ぐかに工夫がされているようだ。赤い家は、木材をガッシリ組んだ農家。その上の緑の屋根は、土を盛り草が生える家（暖かさが確保出来る）。右の小さな家はスウェーデン式あずまや。ルフトヒュースと呼ばれ、オヤツを楽しんだりする。でも、もちろん夏のお楽しみだ。

## Profile

### 深井せつ子

画家。北欧各国の清涼な風景に魅かれ、北欧行を重ねながら、個展・出版等で作品の発表を続けている。北欧絵本に『イエータ運河に行く』、『風車がまわった!』、『森はみんなの保育園』、他の地域の絵本に『一枚の布をぐるぐるぐる』など（全て福音館書店発行）。

[ホームページ] [www.setsukofukai.com](http://www.setsukofukai.com)



# 私の小宇宙

Sweden

絵・文  
深井せつ子

## 愛らしい玄関

ベニガラ色や黄色、白の古民家が森に点在し、というだけで【お伽噺】の世界に入ったような気になりませんか。スウェーデンの南から北に向かっていく電車からは、この、お伽噺の風景が延々と続いてゆく。時々、湖がキラキラと光り、また森になり、小さな町が飛び去り、また森が続く。さて、目的地の駅で私は降りる。

駅前に商店が数軒あり教会を抜けると、もう樹木と古民家の光景だ。そばに寄ると、木造古民家はなかなか威厳がある。100年200年という年月の雨・風・雪・太陽が作りあげた美術品とくに玄関がそれぞれ美しい。切り妻型の屋根はスウェーデン独特のもの。突きだした屋根を支える柱は彫刻が美しい。昨年見た家の玄関はギリシャ風だった。アテネの神殿に見る柱は劇場でよく見るが、なにしろ木造二階建て。柱の装飾は目視の位置にある。とても丁寧な彫りなのに、どこかシンメトリーではない。それが、人の温もりを感じさせていた。



### Profile 深井せつ子

画家。北欧各国の清涼な風景に魅かれ、北欧行を重ねながら、個展・出版等で作品の発表を続けている。北欧絵本に『イエータ運河を行く』、『風車がまわった!』、『森はみんなの保育園』、他地域の絵本に『一枚の布をぐるぐるぐる』など（全て福音館書店発行）。

[ホームページ] [www.setsukofukai.com](http://www.setsukofukai.com)



# 私の小宇宙

Sweden

絵・文  
深井せつ子

## 秋の森では

秋に入ると日の出がどんどん遅くなり、しかも日の入りは午後になってあっという間にやって来る。

もう、白夜の季節のように夜遅くまで太陽は輝いてはくれないのだ。

さあ、暗く長い冬がやって来る前に支度をしなければ。

森のキノコ類は乾燥させて保存する。ベリーはジャムにしてたくさん瓶詰めを作る。暖炉の薪も乾燥させた間伐材を薪割りしなければ。

忙しいのは人間だけじゃない。森の動物たちも同じ。リスは木の実を集めて樹木の洞などにいっぱい貯める。熊は冬眠までにお腹いっぱい食べておく。

真っ青な空、美しい紅葉や黄葉の下でそれぞれが冬支度に余念がない。

今年はどうな冬になるのだろうか。



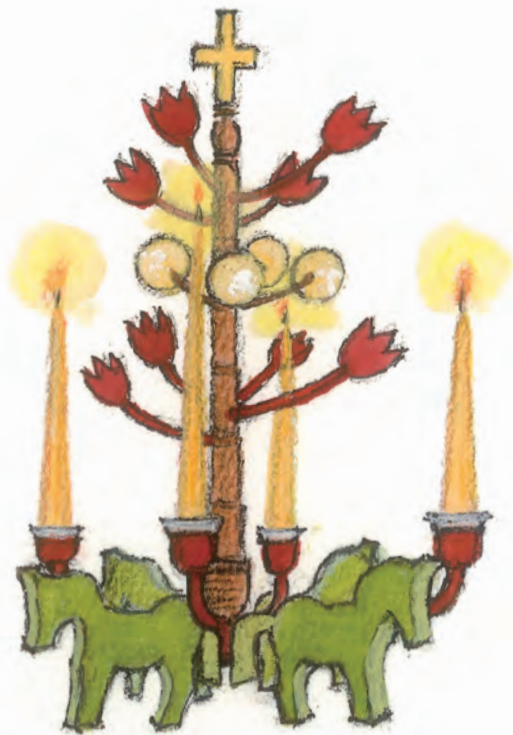
### Profile

#### 深井せつ子

画家。北欧各国の清涼な風景に魅かれ、北欧行を重ねながら、個展・出版等で作品の発表を続けている。北欧絵本に『イエータ運河に行く』、『風車がまわった!』、『森はみんなの保育園』、他の地域の絵本に『一枚の布をぐるぐるぐる』など（全て福音館書店発行）。

[ホームページ] [www.setsukofukai.com](http://www.setsukofukai.com)

絵本『スウェーデンの変身する家具』 絵と文 深井せつ子 福音館書店(株) たくさんのふしぎ 12月号【11月初旬発売】



# 私の小宇宙

Sweden

絵・文  
深井せつ子

## 田舎のクリスマスは

秋にスウェーデンを訪れた。今回はストックホルム市電、郊外電車、特急列車を楽しんだ。

南部のスコネ地方をひた走る電車の車窓風景はことに魅力的。

マルメから北に向かう時、左手に海が見える。対岸の陸地はデンマークだ。右手側は緩やかなカーブを描く田園。時おり屋敷林と農家があり、また田園になり森があり…。

ぼうつと見つめながら、私は思った。どうして、こんなに昔のままの風景が残せるのだろうか？あの農家では、どんなクリスマスを迎えるのだろうか？

11月にスウェーデンを題材にした絵本を出版した。古い木の家具にはたくさんの暮らしの知恵が詰まっているよ、という絵本。でも、その中に「この国では、こうして森林を大切にしたい、森と人が共に生きているんだよ」というメッセージを込めた。



### Profile

#### 深井せつ子

画家。北欧各国の清涼な風景に魅かれ、北欧行を重ねながら、個展・出版等で作品の発表を続けている。北欧絵本に『イエータ運河に行く』、『風車がまわった!』、『森はみんなの保育園』、他の地域の絵本に『一枚の布をぐるぐる』など（全て福音館書店発行）。  
[ホームページ] [www.setsukofukai.com](http://www.setsukofukai.com)

#### 深井せつ子さん絵本

『たくさんのふしぎ 12月号 スウェーデンの変身する家具』を5名様にプレゼントいたします。

※ご応募方法はP.27に記載しております。

